

若者のウェルビーイングについて考えてみよう！

はなまき幸せ会議 NEWS LETTER 01

このニュースレターは「はなまき幸せ会議」のワークショップの様子をお伝えするためのお知らせ文です。



はなまき幸せ会議とは

「若者に選ばれる地域」を考えるうえで、若者一人ひとりが幸せを感じられるまちづくりを考える必要があります。はなまき幸せ会議では、花巻市を舞台に「若者のウェルビーイング」をテーマとしたワーキンググループ(WG)を開催しました。その第1回と、第2回の活動の様子をお届けします。若者の視点から描く“これからの花巻”を感じていただければ幸いです。

令和7年 6.21 SAT

第1回 はなまき幸せ会議

1 レクチャー「ウェルビーイングとは？」



講師 矢部 寛明 氏

認定 NPO 法人底上げ理事長

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科准教授

2 ワーク「自身が考える幸せとは？」

場 所 花巻ユースセンター・ハナレヤベース

参加者数 大学生、市内企業関係者、NPO職員など、計12名

令和7年 9.21 SAT

第2回 はなまき幸せ会議

1 フィールドワーク「宮沢賢治記念館」の見学

2 昼食「マルカン大食堂」

3 レクチャー「ゲストスピーカーからのお話」

ゲスト 北山 公路 氏 大江 郁弥 氏
『マルカン大食堂の奇跡』著者 マルカンビル存続署名活動 発起人

4 ワーク「ウェルビーイングな花巻とは？」

場 所 花巻ユースセンター・ハナレヤベース

宮沢賢治記念館 / マルカンビル

参加者数 大学生・市内企業関係者・NPO職員など、計10名

第1回 はなまき幸せ会議

ウェルビーイングへの理解を深め、自身が考える「幸せ」について考える

レクチャー 「ウェルビーイングとは？」



認定NPO法人底上げ理事長/東北芸術工科大学コミュニケーションデザイン学科准教授でウェルビーイングを専門に研究されている矢部 寛明氏を講師にお招きして、インプットレクチャーを行いました。レクチャーでは、ウェルビーイングに関する基礎的な考え方や、近年自治体、企業、大学などが「ウェルビーイング」に着目する背景や理由についてお話をいただきました。



ワーク 「自身が考える幸せとは？」

△参加者の声△

- 仲間がいる
- お金がある
- 自由な時間がある
- 子どもの成長
- 美味しいものを食べているとき
- 誰かの役に立てる
- 運動をしているとき
- 健康でいれる
- 綺麗な景色を見たとき

レクチャーの間では、参加者自身がそれぞれの「幸せ」から連想するもの、景色、状態などを書き出していき、自分のウェルビーイングを構成するものの特徴や傾向について理解し合うワークを行いました。



※一部抜粋

ワーク 「はなまき幸せ会議の輪づくり」

ワーキンググループの後半では、今回のワーキンググループを更に広げるための方法について参加者同士で作戦会議を行いました。学生・若手社会人・子育て世代など属性ごとに集まりながら、それぞれの属性の若者が考えるウェルビーイングの状態を整理することにより網羅的な指標ができるのではないかというアイデアが生まれました。



第2回 はなまき幸せ会議

花巻のウェルビーイングにつながる魅力や資源を探しに行く

フィールドワーク 「宮沢賢治記念館」の見学

はじめに宮沢賢治記念館を見学し、「ウェルビーイングの観点で宮沢賢治の思想を深掘りする」ワークを実施しました。参加者からは、「賢治の“みんなの幸せ”を願う世界観とウェルビーイングには共通点がありそう」「作品には“世界全体”や“宇宙”といった壮大なワードがよく見られる一方、ひとりひとりの小さな幸せも大切にしている」などの声が上がり、花巻に根付く精神性とウェルビーイングの関係について理解が深まりました。



「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」 宮沢賢治

昼食 「マルカン大食堂」



待ち時間にゲストの北山さんから、マルカンビル復活当時のエピソードをお聞きしました!



お昼はマルカンビル大食堂を見学・昼食をとりました。

名物の巨大ソフトクリームなどを囲みながら、自然と参加者同士の距離が近づき、「それぞれの出身地と花巻の違い」や「花巻市民が地元愛にあふれる理由」などを話し、花巻の幸福感を支える要素についての気づきが多く生まれました。



レクチャー 「ゲストスピーカーからのお話」



ゲスト 北山 公路 氏 (左) 大江 郁弥 氏 (右)
『マルカン大食堂の奇跡』著者 マルカンビル存続署名活動 発起人

「マルカンビルは花巻の象徴」という強い想いから地元の方々が結束し、様々な苦難を乗り越え、今日まで歴史が続いてきました。花巻で大切にされてきた“場の力”、そして「愛される地域とは何か」について、深い学びを得られる時間となりました。

ワーク 「ウェルビーイングな花巻とは？」

フィールドワークで感じたことを振り返り、どんな瞬間に「花巻らしさ」を感じたのかを整理しました。そこから見えてきた「花巻ならではの幸せ資源」や、「これから花巻がどんな街になったら嬉しいか」について、それぞれ考える時間となりました。



チャレンジができる街!
チャレンジを応援できる街!

世代や立場を超えて
役割を担い合う
花巻

子どもの居場所がある花巻

異文化・多様性を受け入れる同士がいる花巻

寛容性をそれぞれ説明できる
花巻

※一部抜粋

はなまき幸せ会議の実施スケジュール

第1回

2025
6.21
SAT

レクチャー
ワーク

ウェルビーイングへの理解を深め、
自身が考える「幸せ」について考える

第2回

2025
9.21
SAT

フィールドワーク

花巻のウェルビーイングにつながる魅力や
資源を探しに行く

第2.5回

2025-2026
12~2日

ワーク

座談会：花巻の若者からウェルビーイングに
関する意見を集める

第3回

2026
2.14
SAT

ワーク

花巻の若者のウェルビーイングを高める
指針を作る

第4回

2026
3.14
SAT

発表

報告会：花巻の若者のウェルビーイングを
高める指針を発表する

はなまき幸せ会議のお知らせ

はなまき幸せ会議の次回開催の概要やお申し込み方法については、
こちらのウェブサイトからご覧いただけます。
皆さまのご参加をお待ちしております。



岩手県公式・いわて若者交流ポータルサイト
「Co.Nex.U」

お問い合わせ いわて若者カフェ事務局 (担当：川原)

TEL : 080-5743-2934

Mail : iwate.wakamonocafe@gmail.com

主 催 岩手県環境生活部若者女性協働推進室 (いわて若者カフェ)

企 画 運 営 特定非営利活動法人いわて連携復興センター